

石原知事定例記者会見録（外環関連部分抜粋）

平成18（2006）年4月21日（金）

15:10～15:43

4. 外環道の事業推進について

次いで、外環道の事業推進についてでありますけども、外環道はですね、日本社会全体のダイナミズムを高めて国際競争力の向上や国家の繁栄、東京の発展に不可欠な道路でありまして、本当に早期の整備が絶対に必要であります。長らくほったらかしにされている。平成13年に当時の扇大臣（扇千景 国土交通大臣：当時）と現地を視察し、約30年間、なぜか凍結されたままだった、この外環道の凍結解除にこぎつけました。

大体この頃ね、男の政治家よりも女の、政治に限らぬね、スポーツもそうだけど、女の人のほうが元気があって、度胸があって。あの時に扇さんもね、「分かったわ」というんでね、即座に快諾してくれましたね。あれは、根本龍太郎（元建設大臣）という、私もよく知っていたけども、威勢のいいおじさんだけど案外度胸のないのがね、美濃部人気に気押されて、言わなくてもいい凍結をしちゃったんだ。それっきりほったらかしでね。

地方にはね、角さん（田中角栄 元内閣総理大臣）の列島改造なんかも引き金になって、まさに夜中には熊か鹿しか通らないような道路がたくさんできたけど、肝心の首都圏の環状線というのは、いまだにほったらかしにされて、ロンドンやパリに比べると（約）30%というていたらくでね、これは東京の致命的な欠陥になっていきますけど、これがようやく動き出しました。

地元との話し合いは、これまでも330回にも及んでいまして、この17日には沿線の区長、市長からも意見を聴取しました。このような取り組みを重ねてですね、今般、都と国は、外環道の必要性や環境対策などについておおむねの理解を得たものと判断しまして、近々、大深度地下への都市計画変更に着手することにいたしました。

私も現地へ行きましたけどね、あそこに住んでいる人たちは、計画の下でね、家を建て直すと思ってても建て直せない。それでとにかく古い家にしがみついて我慢して、どうなることか分からぬから、非常に不安な、不便な生活を送ってきましたが、家をリニューアルされるのも結構でしょう。そういうご迷惑をかけないように、とにかくあの下をくぐる、そういう工法でやりますので、その点にご安心いただきたいと思っております。私から申し上げることは、それだけ。質問があったら、どうぞ。

質疑応答

外環に関連する質疑応答なし